



SOPHIANsNow

—コロナで変わるソフィア会—

新型コロナウイルスの出現で、四谷キャンパスから学生の姿が消えました。教室での授業ができない状態が、いまでも続いています。そして、ソフィア会が予定していたイベントは次々と中止、延期を余儀なくされました。

しかしその中で、新しいソフィア会の姿を模索する動きが生まれています。たとえば、「オールソフィアンの集い(ASF)」。例年四谷キャンパスに1万人以上が集うこのビッグイベントは、ネット上で世界中のソフィアンがつながる「Net de ASF」に変身。ASFは新たな道を探すと同時に、ソフィア会としての次の姿を示すことができました。

全国代議員会は、メールを駆使してソフィア会としての総意を確認しました。ビデオ会議システムが、対面による会議や打ち合わせを十分に補えることも知りました。世界の地域ソフィア会、そして各種ソフィア会もオンラインで新たな親睦の場を作り出しています。

かつてのようなソフィア会活動を待ち望む一方で、新しいソフィア会の姿も浮かび上がってきました。

緊急支援で 1,000 万円を寄付。奨学金でも学生支援

新型コロナウイルスは母校・上智大学も直撃し、学位授与式や入学式をはじめ、さまざまな大学行事やイベントが中止される事態に陥りました。同時に、このウイルスがもたらす経済活動の停滞により、学生の修学環境にも大きな影響が生じています。大学へも、学生からは学費や生活費に関する相談が増えているようです。

こうした緊急事態に際し、ソフィア会はさらに学生支援に力を入れなくてはなりません。学生支援についてはこれまでも、課外活動支援、奨学金による支援、留学生支援など多岐にわたる活動を展開していますが、いっそうの充実を図る必要があります。ここではソフィア会が今取り組んでいる学生支援策のいくつかを紹介するとともに、これからの取り組みについてもみなさまのご理解とご支援をお願いします。

1. 緊急支援として 1,000 万円を大学へ寄付

新型コロナウイルスの感染拡大により、上智大学においても家庭の経済状況の変化による収入減や、学生アルバイトの打ち切りにより生活費が得られない、そのために退学を余儀なくされるなどの深刻な状況にある学生が多数います。この状況に対して、本年度のソフィア会予算の中から、このほど 1,000 万円を上智大学に寄付しました。

この寄付金は、上智大学が緊急に実施した留学生を含む「アルバイト収入減額による生活支援金（給付金額 10 万円 / 人・給付学生数 1,548 名・5 月末支給済み）」の支給の一部に充当いただきました。

さらに、2020 年春季全国代議員会の電磁的投票により、さらなる追加的予算措置を伴う学生支援に関して「常任委員会一任」の承認を得ましたことから、過年度からのソフィア会積立金残高（2020 年度末 2 億 5 千万円見込み）の中から相当な額を緊急に「家計・生活費急変の学生への支援」をすることについて常任委員会において審議する予定です。

（緊急対応が続きますので最新の情報はソフィア会 Web サイトにてご確認ください）

「ソフィア会 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う学生支援募金」を 2020 年 5 月 11 日にスタートしております。今後継続して発生が見込まれる、家計の急変、生活費を得ることの困難な経済的支援を必要とする学生（留学生含む）を対象とした学生支援のための募金に、ご理解とご協力をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

2. ソフィア会による学生支援の柱——「ソフィア会奨学金」

ソフィア会は、2017 年 4 月以降の入学者を対象に終身会費の改定（主に 2020 年度学部卒業生から適用）を行いました。その際の主目的の一つにソフィア会による奨学金制度の創設がありました。これについては、上智大学関係者との 1 年以上にわたる検討の結果、その名称を「ソフィア会奨学金」とし 2019 年度から予定通り制度導入を実現しています。

これは返還義務のない給付型の制度で、大学のグローバル化を後



押しする海外への「留学支援奨学金」（対象は、海外短期留学プログラム、長期の交換留学）、そして主に首都圏以外の出身者で自宅外から通学する学生を支援する「生活支援奨学金」の 2 つからなります。この制度は 2010 年度からスタートした「課外活動支援金」に加えて、ソフィア会の学生支援の大きな柱となるものです。

2019 年度は、15 名に「留学支援奨学金」総額約 415 万円を給付し、奨学生からは、ソフィア会への感謝とともに「貴重な経験、得難い体験」などの報告が届いています。

また、2020 年 4 月には遠方からの入学者 4 名に「生活支援奨学金」総額 200 万円（年額 50 万円 / 人）給付も開始しています。

●奨学生証授与式の開催

ソフィア会は、2019 年 11 月 27 日（第 1 回）、2020 年 1 月 17 日（第 2 回）に「ソフィア会奨学金奨学生証授与式（長期交換留学の部及び短期留学の部）」を上智大学から久田満副学長（学生総務担当）をはじめ大学関係者の出席のもと、ソフィアンズクラブで開催しました。当日は、ソフィア会の戸川宏一会長から奨学生一人一人に対してソフィア会奨学生証と記念品を手渡し、各奨学生からは留学計画や留学報告の発表が行われました（2020 年度からは、春と秋の留学出発前の毎年 1、7 月に定例開催の予定です）。

●2019 年度ソフィア会奨学生

1. ソフィア会留学支援奨学金ー海外短期プログラム（研修、実践型）枠

- (1) 2019 年夏出発（6 名、合計 142 万円給付済）ー2019 年秋季ナウに氏名など掲載済
- (2) 2020 年春出発（5 名、合計 146 万円給付済）

氏名	学部学科	プログラム名
高柳薫杏さん	総 G 4 年	バンコク国際機関実地研修
岡本葵さん	外英 3 年	国連集中研修
金子万葉さん	総看 3 年	メコン経済回廊スタディツアー
木下紅実花さん	経経 1 年	メコン経済回廊スタディツアー
水野紗伎奈さん	総看 1 年	メコン経済回廊スタディツアー

* 新型コロナウイルス感染拡大の影響前で、全員無事留学を果たしました。



2. ソフィア会留学支援奨学金—交換留学枠

- (1) 2019年夏出発(3名、合計120万円給付済) —2019年秋季ナウに氏名など掲載済
- (2) 2020年春出発予定(1名、総額70万円給付予定)

氏名	学部学科	プログラム名
山田由莉さん	外英2年	西江大学・香港城市大学

● 2020 年度ソフィア会奨学生

1. ソフィア会生活支援奨学金(主に首都圏以外の出身者で自宅外から通学する学生を対象)

これは、2020年4月入学の公募制推薦入試志願者の中から毎年5名に給付する計画です。2020年4月入学者では、候補者(入試合否判定前)10名の候補者に絞り選考の結果4名採用決定しました。2020年4月25日に、4名(年額50万円/人)に給付するとともに、新型コロナウイルス感染拡大防止のため奨学生証授与式は延期とし、ソフィア会奨学生証を戸川会長からの応援メッセージとともに、郵送しました。

●ソフィア会奨学生からの声

- ・初めての海外、一人暮らし、英語もほとんど話せないなどたくさん不安がある中、ソフィア会奨学金のおかげで現地生活費を心配することなく、勉強に集中できた。もともと内向的な性格だったが、1つ1つ困難を乗り越えていくことで大きな自信に変わり貴重な体験だった。(長期交換留学)
- ・ソフィア会奨学金を現地生活費に充てることができたため、毎日、講義の他に8時間以上の勉強を続けた。すべての履修科目につき「A」以上の成績が取得できた。(長期交換留学)
- ・将来、海外で活躍したいと考えていたが、様々の事情により留学をあきらめかけていた。ソフィア会奨学金は、初めての留学とそして将来への前向きなチャレンジに背中を押していただいた。(短期留学・実践型プログラム)
- ・英語が得意ではなく始めのうちは詰まることがあったが、他国からの留学生が手厚くサポートしてくれたおかげでディスカッションの授業も積極的に参加できた。国際社会における諸問題は、単に戦争をなくせば解決するような簡単な問題ではなく複雑に各国の利害が絡み合う根の深い問題であると肌で感じた。ソフィア会奨学金のおかげで、様々な課題に対して視野を広く多面的に考察するという得難く貴重な体験をすることができた。(短期留学・実践型プログラム)
- ・ソフィア会奨学金により実践型プログラムに参加できたことは、自らの大学生活において大きな意味を成すものとなった。目指す研究分野を見つけることができ、今後、1年間の交換留学により学びを続けたい意欲が高まった。いっそう集中して学業に励みたい。(短期留学・実践型プログラム)



- ・ソフィア会奨学金により、かねてからの夢だった国際機関に実際に足を運ぶことができた。上級職員になるには、海外有力大学の修士もしくは博士課程への進学が必要であることを実感した。自分のキャリアモデルを見直す機会となり、新たなチャレンジに勇気を与えてくれた。(短期留学・実践型プログラム)
- ・もし、ソフィア会奨学金がなかったら、親に経済的負担を掛けなかったでプログラムの参加を諦めようと思っていた。それくらいソフィア会の存在は私にとって大きく、非常にありがたいものでした。(短期留学・実践型プログラム)

3. ソフィア会奨学金基金設立と寄付のお願い

学生たちの夢実現のため熱きご支援を！

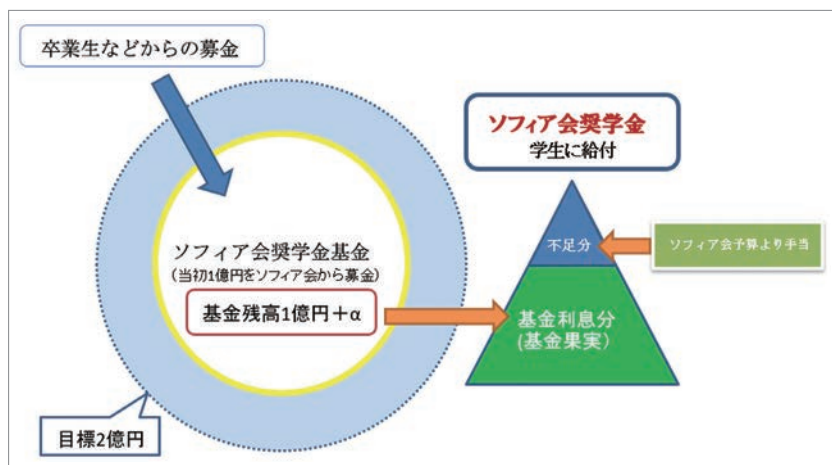
「ソフィア会奨学金のための SOPHIA 未来募金」2020年2月1日受付開始

現在そして未来の学生のために長期的安定的に奨学金を支える「ソフィア会奨学金基金」を2020年度に設置しますが、この基金への募金受付を2020年2月1日に開始しました。

人生の大きな目標に向かって懸命に努力を続ける学生たちのため、ぜひみなさまのご協力・ご支援をお願いします。

上智学院には現在残高に対して好条件での運用を継続している基金制度があります。ソフィア会の積立金残高から2020年度に1億円を拠出し、これを財源に上智学院の基金制度のひとつとして「ソフィア会奨学金基金」を設置します。

基金目標額残高について2020年度から毎年度、ソフィア会予算から5百万円、会員の皆さまからの寄付5百万円を募ります。10年後(2029年)に2億円の「ソフィア会奨学金基金」残高を目指します。



◎ 上智大学の Web サイトから、SOPHIA 未来募金の申し込みができます。

「寄付金の使途」は「学生の就学支援」を選択し、「通信欄」に「ソフィア会奨学金のために」と指定してください。

募金申し込みは、こちら (<http://www.sophia100.jp/contribution/index.html>) のサイトから

◎ 本件全般のお問い合わせは、

ソフィア会事務局

(Tel : 03-3238-3041、E-mail : info@sophiakai.gr.jp)

へお問合せください。

◎ SOPHIA 未来募金の募金方法などは、

上智学院総務局ソフィア連携室

(TEL : 03-3238-3198、E-mail : 2013-co@sophia.ac.jp)

へご照会ください。

「電磁的に」2020 春季全国代議員会を開催 予算編成方針と学生支援を承認。役員任期は延長

新型コロナウイルスによる非常事態で、5月16日（土）に学内で開催を予定していた2020 春季全国代議員会は「電磁的及びはがき」^{注1)}により行われました。

審議・決議されたのは①ソフィア会の予算編成方針（会費値上げに伴うポートフォリオに基づく新規事業計画など）、②新型コロナウイルス感染拡大の影響を受ける学生への支援について、の2点。また、今回役員改選時期ではあるものの6月以降の新体制の準備が整わないことから、現状の役員（会長、副会長、監事、常任委員、委員会委員、代議員）が次の全国代議員会（臨時開催もしくは秋季代議員会）まで役員任期を延長して、担当を継続することとしました。2020 年度事業計画および予算も予算案の提案のとりまとめが困難であることから、上記2点のみ審議、電磁的投票となりました。

資料へのご質問は、事務局が閉鎖されていることから5月11日（月）から18日（月）までメールまたは郵便で受け付け、ソフィア会 Web サイトの専用ページに寄せられた2点の質問全文と回答を掲載。こうした手続きを経て23日（土）まで投票を受け付け、29日（金）に右記の通り確定しました。

【審議事項①】ソフィア会 2020 年度予算編成方針（会費値上げに伴うポートフォリオに基づく新規事業計画など）

2020 年度は、2017 年4月入学者からのソフィア会終身会費定（2万円から4万円）に伴う本格的な収入増加がスタートします。2019 年秋季全国代議員会でご承認いただいたソフィア会将来ビジョンの「2020 年度以降に向けての予算策定方針（予算全体のポートフォリオ）」をベースとして、2020 年度の予算編成を行っております。

2020 年度収入に関しては「2020 年度以降に向けての予算策定方針（予算全体のポートフォリオ）」において見込んだ通り1億3千万円程度（終身会費収入1億2千万円、その他1千万円程度）を確保できる見通しです。

また、「ソフィア会奨学金」のためにソフィア会積立金残高から、上智大学へソフィア会奨学金基金（SOPHIA 未来募金目的指定）として1億円を一括拠出予定ですが、2020 年度末のソフィア会積立金残高は、その適正水準である2億5千万円以上を確保する方針を

注1) ソフィア会会則第16条（議長と決議方法等）の第3項

書面または電磁的方法によって投票した者ならびに同方法によって議長に議決権行使を一任した者は、出席者とみなす

●投票結果

議決権行使代議員総数：522名（基準日：4月13日現在）

上記の過半数：262名

投票数：432票（投票率 約83%）

審議事項 1	投票数	審議事項 2	投票数
承認	369	承認	372
議長一任	56	議長一任	55
反対	5	反対	2
保留	2	保留	3
合計	432	合計	432

維持します。

収入を含む支出全体の予算に関しましては、次の全国代議員会（臨時開催または秋季全国代議員会）にてご承認をいただきますが、それ以前に新規（含：増額）による支出予定の案件は以下の通りです。これ以外の①少額（10万円以内目途）の新規や増額案件、②継続案件、③予備費（300万円）からの支出については、全体として前年度支出予算以内となるよう常任委員会にて管理いたします。

なお、新型コロナウイルス感染拡大により、今後ソフィア会事業の中止や縮小、ソフィアンズクラブ収入などの減少が考えられますが、しかるべき時期に、現在策定途中予算案の見直しを行う予定です。

次の全国代議員会（臨時開催または秋季代議員会）において、予算全般の見直し状況や見直し結果に関してのご審議をいただく予定です。

2020 年度主な新規（含：増額）案件の支出項目（案）

（単位：千円）

No.	案件名	予算額	前年予算 から増加額	申請理由など	備考
1	ソフィア会奨学金の給付	7,500	4,500	ソフィア会将来ビジョンにもとづく、ソフィア会奨学金（生活支援奨学金、留学支援奨学金）給付を2020 年度予定通り実施いたします。ただし、新型コロナウイルス感染拡大により留学支援奨学金の支給を縮小することがあります。（2019 年度から留学支援奨学金給付開始済、2020 年度から生活支援奨学金給付を開始します。）	増額
2	学生課外活動支援費	10,000	2,000	ソフィア会将来ビジョンの重点施策であり学生支援を強化する目的で、200 万円を増額します。増額分の配分などは、今後、大学（学生センター）と協議いたします。	増額
3	その他学生支援費 （ソフィア祭現役支援）	600	200	学生課外活動支援費と同様、学生支援強化の一環で、ソフィア祭への支援を強化いたします。	増額
4	学部・学科同窓会支援費	3,000	2,500	「学部学科同窓会は、ソフィア会と分担して学部学科所属卒業生全員また学部学科所属学生、教職員を対象に、ソフィア会の目的にそって活動する。」という概念に基づき、ソフィア会からの学部・学科同窓会への活動資金の一部補助を行い支援の充実を図ります。（ソフィア会主催の学科同窓会連絡会開催費用20 万円を含みます。）	新規

（注意）1、次の全国代議員会（臨時開催もしくは秋季代議員会）にて予算案の承認後に執行予定のものは、その時点で承認を得ることとしますので、今回はこの表には掲載しておりません。

2、上記すべて、2019 年秋季代議員会でご承認いただいた「2020 年度以降に向けての予算策定方針（予算全体のポートフォリオ）」において計画したものになります。

3、上記以外にも、新型コロナウイルス感染の収束状況をみながら、前年度予算枠の範囲内で、事業の開催をすることを検討しております。

・ASF は、5 月実施は中止となりましたが、秋季に開催する可能性を模索しております。



【審議事項②】新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けている学生への支援について

マスコミでも取り上げられておりますが、上智大学学生においても、新型コロナウイルス感染拡大の影響で保証人（父母等）の経済的な困窮により就学が困難となる学生、学生アルバイトができず困っている学生がおられます。

上智大学では「修学継続の支援」、「オンライン授業の受講支援」、「経済支援をはじめとした学生生活支援」の方針を4月28

日に表明しております。このような大学の方針と調和させながら、ソフィア会としても可能な限りの学生への支援を行っていきたいと考えております。

本件は迅速な実行が肝要であることから、追加的な予算処置を含めて、全国代議員会の承認を得ることなく常任委員会の判断にて推進することが必須と考えております。



中止・延期となったソフィア会主催のイベント

新型コロナウイルスの感染拡大によって、残念ながらソフィア会主催のイベントが次々と中止または延期されています。しかしここにもあるように、状況が変われば改めて行われるもの、すでに延期しての開催日を決定しているものもいくつかあります。ASFも、5月末にはオンラインでのNet de ASFとして開催しましたが、今年度の四谷開催も模索しています。再開の日をお待ちください。



特別講演会「銀行員から歯科医に 難民申請者の歯を治療」 → 順延（開催日未定）

銀行員が30代で歯科医師となり、現在は難民申請者の無償歯科治療支援を行っている永坂哲さんの特別講演会「銀行員から歯科医に難民申請者の歯を治療」。

3月13日（金）、四谷キャンパス2号館17階1702会議室で18:30開演予定でしたが、これを延期します。開催日は決まり次第お知らせします。

「第29回コムソフィア賞」授賞式と講演会 → 順延（開催日未定）

第29回コムソフィア賞授賞者の江副隆秀さん（1975文新・新宿日本語学校校長）の授賞式と記念講演会は7月7日（火）2号館17階国際会議場で開催予定でしたが、これを順延します。

江副隆秀さんは、実父（1947文史）が戦後神父の日本語教育のために創設した日本語学校（現在新宿日本語学校）を発展させ、日本に留学してきた各国からの学生の日本語教育を進めてこられました。

「エステー鈴木社長講演会」 → 順延（開催日未定）

7月10日に開催予定のエステー（株）鈴木貴子社長（1984 外西）講演会を順延します。

2020 ソフィアンズカップ（ゴルフ大会）

→ 12月7日に順延

本年度のソフィアンズカップは9月7日（月）狭山ゴルフ倶楽部で開催予定でしたが、これを延期し、12月7日（月）に同じく狭山ゴルフ倶楽部（当日貸し切り）で行います。なお、状況によっては中止もあり得ること、また開催しても表彰式・懇親会は中止することもあります。参加者への案内は状況を見つつ、8月ぐらいに行う予定です。

第11回地域ソフィア会全国大会 2020 信州大会

→ 2021年9月25日～26日に順延

9月26日（土）～27日（日）の両日、長野県松本市で開催予定の「第11回地域ソフィア会全国大会 2020 信州大会」は、ホストのアルプスソフィア会と協議した結果、やむを得ず今秋の開催を見送り、2021年の9月25日（土）～26日（日）に延期して開催します。



第29回コムソフィア賞は江副隆秀さん(1975文新)に 外国人留学生への日本語教育に貢献

コムソフィア賞委員会は、第29回コムソフィア賞授賞者に江副隆秀さん(1975 文学部新聞学科・新宿日本語学校校長)を決定しました。

江副隆秀さんは、実父(1947 文史)が戦後神父の日本語教育のために創設した日本語学校(現在新宿日本語学校)を発展させ、日本に留学してきた各国からの学生の日本語教育を進めてこられました。その日本語教育は、江副式教授法と言われるほど独特で優れおり、卒業生は世界の日系企業で活躍しています。同教授法は、ソフト化

され難聴者教材にも応用されています。さらに最近「にほんこの日(11月5日)」記念日(登録・認定)とし、その日には、日本語教育研究会を開催し、いっそうの努力もされています。こうした功績を称えて第29回コムソフィア賞を贈ります。



●これまでの受賞者(敬称略)

故江畑謙介(1973理機)、石澤良昭(1961外仏)、故中村又蔵(1957文新)、藤井絢子(1969文史)、竹井清(1971外西)、清水信一(1971文新)、横川和夫(1960文新)、藤田和芳(1970法法)、マリ・クリスティース(1979比文)、故早川正一(1950専新)、諸田玲子(1976文英)、ディビット・シャピロ(1981外比)、細川佳代子(1966文英)、鳴海廣(1959文新)、松村裕幸(1970外葡)、大西健丞(1991文新)、水谷修(1982文哲)、ベンジャミン・フルフォード(1985外比)、小澤征良(1996比文)、故石井恭一(1948経経)、朝間義隆(1965文英)、故佐島直子(1978法法)、神田裕(1987神神)、ケビン・ショート(国際)、安藤優子(大学院グローバル・スタディーズ研究科)、新井満(1970法法)、山田五郎(1982文新)、鳥飼玖美子(1969外西)、本田哲郎(1965文哲)、鮎川ゆりか(1971外英)、我謝京子(1987外西)、三森ゆりか(1981外独)、信長貴富(1994文教)、嶋浩一郎(1993法法)、塩塚博(1979経経)、鐸木能光(1978外英)、師岡文男(1976文史)、安田菜津紀(2010総教)、植木千可子(1983院国際関係)、孔健(1996院新聞)、石川えり(1999法国際)、澤田康彦(1982外仏)、道傳愛子(1988年外英)、須磨美由紀(1983文社福)、川村元気(2001文新)

アクティブコモンズで「ASC2019」開催 厳かに、そして華やかに

「オールソフィアのクリスマス(ASC)2019」を12月13日(金)18:00から四谷キャンパス内アクティブコモンズで開催しました。

第1部「ソフィアの祈り」が大束晋さん(文哲)のパンフルートと、あまの伶さん(外葡)のライアー(竖琴)の厳かな調べで始まり、聖歌隊の歌う「久しく待ちにし」に合わせ、キャンドル隊に続いてトーマス神父が入場。福音朗読、クリスマスメッセージ、会衆を代表しての共同祈願、一堂による聖歌で第1部「ソフィアの祈り」が締めくくられました。



第2部のパーティは太平洋の島々からの留学生でつくる「アイランダーズ2019」の演奏で始まり、司会もプロアナウンサー川島葵さん(文新)と放送研究会の男女2人の学生にバトン



タッチ。カトリック・イエズス会センター長の李 聖一神父の挨拶、ドイル神父からフランシスコ教皇に係わるお話があり、ソフィア会戸川宏一会長の挨拶、乾杯の後、華やかにクリスマスパーティに。

会場には16団体の出店によるさまざまなブースが展開され、来場者を楽しませました。チャリティブースの売上金の一部は山本美紗さん(聖母看護)が現地で支援活動に従事されているバングラディッシュ南部避難民支援のために日本赤十字社を通じて寄付しました。

注目のステージはジャズ研究会の学生のみなさんの演奏、タイのプーケットから井上ゆかりさん(外比卒)のソロ、プロ歌手藤島新さん(外英)の高く甘い歌声、The Rascal Strangersのポップス、クリスマスソングと大いに聴衆をわかせました。

国際委員会の新企画「Chatでつながろう！」 懐かしい顔がZoomを通して語りかけてきました

“オンライン・ソフィア会”が国際委員会でも始まりました。昨年の「ザビエル杯日本語スピーチコンテスト」に参加した留学生を結び、「Chatでつながろう！」の名の下にZoomでの情報交換を開始。コロナ禍でそれぞれが経験していることや不安なこと、困っていることやコロナ禍が過ぎ去ったらやりたいことなどを話し合う場として、定期的に開催する予定です。

5月23日に開催した第1回目は、すでに帰国している留学生も韓国とオーストラリアから参加し、現在の状況を報告。また、日本在住の留学生からは経済的不安などで帰国まで考えたことや、今後の就職への希望や不安などの発言がありました。

国際委員会からも現役学生や若手卒業生からベテランまでが参加し、私たちにできる限りの応援・支援をしていくことを約束。まずはこのような機会を持って、こういう時期だからこそ他者を思いや

るという上智の精神で、よりいっそうのインバウンド留学生の支援、また現役日本人学生との交流の一助になるように努めていく考えです。

最後のユンベ・オムさん(西江大学からの留学生・ザビエル杯2位)の「半年しか留学期間はなかったのにこうしてつながっていただき、今日が上智に入って僕の一番嬉しい日になりました！」との言葉で、国際委員全員が今後ともより上智大学がグローバルになって行く一助となれば、と想いをひとつにしました。



12,000人が見たソフィア会の新企画 世界のソフィアンがつながった Net de ASF



今年の「オールソフィアンの集い (ASF)」は四谷キャンパスでの開催をやむなく断念。そこで、実行委員会が企画したのが「Net de ASF」。動画共有サービス「YouTube」やSNS「Facebook」で世界のソフィアンを結び、ソフィア会のスローガン「つなげよう、広げよう、深めよう、ソフィアンの絆」を実現しようとする試み。世界で延べ12,000人が見る大ヒット企画となりました(プログラムは<https://youtu.be/OkfIV3whn18>でご覧いただけます)。

コロナ禍の中の上智大学とソフィア会 —今こそ上智の強みを生かす



総合司会の森重有里彩さん(左上)と
金谷武明さん(右上)、そして豊田圭一さん(下)

5月31日(日)の9時50分(日本時間)。世界中のソフィアンがそれぞれのパソコンやスマホの画面を見つめる中、ヴェリヤト・シリル神父によるお祈りでNet de ASFは幕開けしました。

司会を務めたのは実行委員長の豊田圭一さん(1992経経)、そして金谷武明さん(1994法法)、森重有里彩さん(2016社福)の3人。オープニングは、佐久間勤上智学院理事長、畔道佳明上智大学長、戸川宏一ソフィア会会長によるトークセッションです。テーマは「つなげよう、広げよう、深めよう、ソフィア



オープニングトークには佐久間理事長、畔道学長、
戸川ソフィア会会長が登場

の絆」。

畔道学長が「5月25日からオンライン授業を開始しています」など大学の状況を、戸川会長は「ソフィア会として大学の支援に力を入れ、新たな募金活動を開始しました」などソフィア会の取り組みを説明。佐久間理事長は「コロナで世界は変わるといわれていますが、この中で上智の強みをいかに前面に押し出していかを考えています」と、ソフィア会へ期待を交え語りました。

続いて行われたのが、Net de ASFならではの企画「Sophians Around the World」。世界を3つのタイムゾーンに分け、アメリカからアジア・パシフィック、そしてヨーロッパと世界をぐるっと一周する形で、それぞれの地域のソフィアンに話を聞こうというものです。10時半、現地では前日の夜の時間帯になる最初のアメリカ編には、米国のニューヨーク・ソフィア会、ワシントンDCソフィア会、LAソフィア会、そして南米からコロンビア・ソフィア会、サンパウロ・ソフィア会の5名が参加しました。

このSophians Around the Worldは、午後1時から日本からは岩手ソフィア会、大阪の関西ソフィア会、そしてベトナム、インドネシアのソフィアンが参加したアジア・パシフィック編、午後4時から現地では早朝となるヨーロッパ編としてアイルランド・ソフィア会、フランス・ソフィア会、そしてミュンヘン・ソフィア会の会員によるトークが繰り広げられました。

横のつながりと縦のつながり —いつもどこでも生きている上智の精神

Sophians Around the Worldは、今回のNet de ASFで初めて実現した世界のソフィアンをつなぐ画期的な企画でした。世界のソフィアンがまさにひとつにつながれた瞬間だったといえるでしょう。

司会を務めた豊田さんからはそれぞれの参加者に①現地のコロナ被害の状況、②ソフィア会活動の状況、③ソフィアンでよかったこと、などのテーマ別に質問がありました。

コロナ被害については「ブラジルは感染大国になり、経済的にも精神的にも大きな犠牲を払っている」(サンパウロ・ソフィア会 細川多美子さん)、「レストランはすべてテイクアウト。政府機関以外はすべて在宅勤務」(ジャカルタ・ソフィア会 榎本豊さん)と厳しい地域がある一方、「車社会で人との触れ合いがなく、せっぱつまった感じがしない」(LAソフィア会 二見文子さん)、「岩手は日本で唯一感染者がでていないが、東日本大震災の教訓が生きているのではないか」(岩手ソフィア会 平野ユキ子さん)、「学校が再開されるより早くビアガーデンがオープンした」(ミュンヘン・ソフィア会 高橋真保呂さん)と、国や地域によってバラツキがありました(あくまで5月31日現在の状況です)。

続く、「上智大学およびソフィア会について」というテーマでは、全員一致で好意的で前向きな答えが返ってきました。「ソフィアのつながりは財産」(NYソフィア会 サニー・スプリングさん)、「ソフィアンというだけで親しくしてくれる」(コロンビア・ソフィア会 豊田哲也さん)、「大学は4年間だけでなく生涯のつながりを作る」(関西ソフィア会 辰巳貞一さん)、「どこに行ってもソフィア共通の精神が生きている」(アイルランド・ソフィア会 田中幸子さん)など、上智の卒業生でよかったという声が続きました。

11時30分からは、例年ASFに合わせて行われる卒業50年の金祝、40年のルビー祝、25年の銀祝、そして15年の銅祝の代表者のみなさんによる「金ルビー銀銅祝記念トーク」。大崎麻子さん(1994比文)と金谷武明さんの司会で、学生のころの時代背景、思い出などを聞きました。Sophians Around the Worldが横のつながりなら、これは世代を超えた縦のつながりというわけです。



世界を3つのタイムゾーンに分けてそれぞれの地域のソフィアンが語る「Sophians Around the World」。最初はアメリカ編。



金祝から銅祝まで。ソフィアンを縦の線でつないだ「金ルビー銀銅祝記念トーク」

当時の写真を示しながら、それぞれの学生時代の話が続きましたが、建物は変わっても四谷キャンパスという共通基盤があることで不思議と話があうものです。メンストとかSJハウスというだけで仲間意識が生まれる。少人数で、全学部が四谷の小さなキャンパスに集約されていることがソフィアンのつながりを生むことを再認識させられました。

ソフィアンによる2つの対談 —新しい時代に生きる

例年、ASFの人気プログラムに著名なソフィアンによる講演会や対談があります。このNet de ASFでも異なる分野の2つの対談が行われました。午後2時からは「キャリア企画」としてサイバーエージェント取締役人事統括の曾山哲人さん（1998 文英）とアドビシステムズ人事部シニアマネージャー杉本隆一郎さん（1998 経営）による「これからの時代に求められる人材は？」。モデレーターは就活中の現役生、高山凌さん（経経4

見方の一方、「アグレッシブさ、我こそはという感じが無い」（曾山さん）、「実際にグローバル社会では上智の出現率は少ない」（杉山さん）との厳しい評価も。

学生からの「コロナで就活戦線に変化は」という質問には「今では就活も完全にオンライン化しており、リモートでの仕事を中心になると自分自身での目標の設定力が大切になる」（曾山さん）、「昔は人の背中を見て、そのやり方を盗みながらというところがあったが、リモートになると人が見えないところで成果を出さなければならない」と、新しい働き方が求められているという指摘もありました。

曾山さん、杉山さんともバブル崩壊時に就活を迎えたという経験の持ち主。そこで、現在のいわゆるコロナ世代の就活生には「このように社会が動いているときは“空き”ができるのでチャンスともいえる。その隙間を狙うのもいい」と、現在の学生にエールを送りました。

続いて午後3時からは「不安な時代をどう生きるか」をテーマに、晴佐久昌英神父（1986 神神）と片柳弘史神父（2008 院前神）の対談が行われました。司会は鈴木真理子さん（1982 文仏）と文学部新聞学科3年の横山風さん。晴佐久神父は2013年からASFで講演されています

が、片柳神父はASF初登場。慶應義塾大学法学部を卒業後、マザー・テレサのもとでボランティア活動をし、上智大学神学部大学院に入学したという経歴をお持ちです。

両神父とも現在のコロナ禍の中でこれまでの仕事になかなかしづらい状況にあるようですが、「この休みでいろいろなことに気づかされた」（晴佐久神父）、「成長の休みだと思っている」（片柳神父）と、生まれ変わるための気づきの時と位置付けているようでした。

一方で「先が見通せない中で、困っている人がたくさんいる。この人たちのために何かできないかと考えるべき。神は「乗り越えられない試練を与えることはない」というが、今は成長のための試練の時である」（片柳神父）、「今回のウイルスは全世界共通であり、みんなが不安を感じている。しかしこれは恩寵のウイルスであり、この状況をどのように素晴らしいものに変えていくかと考えることが大切」（晴佐久神父）と希望を語りました。

そして最後はASF恒例のウィリアム・カリー元学長によるピアノ弾き語り。ソフィアンズクラブのピアノでフランク・シナトラの名曲「New York New York」、そして「What a wonderful world」の2曲。最後は画面上にこれまで準備を重ねてきた実行委員のみなさんの顔が並ぶ中、校歌でエンディングを迎えました。

朝9時50分から休みなしで夕方5時過ぎまで、長いようであつという間の1日でした。



キャリア対談は二人の人事担当ソフィアンに現役学生が質問



いつものASFのように、最後はカリー先生の弾き語り、そして校歌

アメリカCNNにより、日本から唯一選出
世界の夢の旅行先10選

樹齢160年におよぶ
広さ1,000㎡の大藤棚

**煌びやかな冬の華
世界に誇る春の花**

日本三大イルミネーション
（社）夜景観光コンベンションビューロー 認定
イルミネーションアワード（2016年～2019年）
イルミネーションランキング
4年連続全国1位

花と光の楽園 **あしかがフラワーパーク**
Ashikaga Flower Park

〒329-4216 栃木県足利市迫間町607
TEL.0284-91-4939

JR 両毛線「あしかがフラワーパーク駅」より徒歩約3分
詳しくは **あしかがフラワーパーク** 検索

視聴されたソフィアンの声

- 素晴らしいASFでした。最初から最後まで楽しく参加させてもらいました。インターネットで世界8都市と10号館講堂をつないだ1996ASFの時から熱望していた世界への同時配信の夢が今回実現しました。コロナが収束しても、これからは毎回世界とオンラインでつなぎ、世界に配信することは是非継続して下さい。そして、来年はアフリカのソフィアンの登壇を望みます。
- 実行委員のみなさま大変お疲れ様でした。時間および様々な制約のなか、このような素晴らしいイベントを計画、実行いただきありがとうございます。通常のASFでは、自分の持ち場以外にはなかなか垣間みることさえ難しいですが、今回は、満足感いっぱいです。
- キャンパスで集まるのもいいですが、Netの良さも改めて発見しました。同時にアメリカ、アジア、欧州、岩手、関西と集えるのはnetならではのですね。時期の違いはあれど人生の多感な時期を四谷で過ごした、いわば同じDNAを持つ仲間と、空間を越えて触れ合えて、上智の絆を感じることができました。
- 実行委員会のみなさん、登壇された皆さん、近くで遠くでサポートしてくださった皆さん、もう本当に素晴らしいかったです！これなら国内も海外も参加できますよね。お疲れさまでした。来年も楽しみにしています。
- 世界を繋ぐイベント、素晴らしいかったです。当日四谷に来られなくても参加できる、新しい形だと思いました。
- 新型コロナ渦中の難しい状況下、本当に素晴らしい企画とそれを成功させた実行委員の皆様の情熱とご尽力に敬意を表します。朝からずーっと繋ぎ聞き流しながら最後まで拝見、拝聴させて頂きました。幅広い年代の、世界中のソフィアンがとても楽しめる素晴らしい企画内容でした。

■ 素晴らしい企画をありがとうございました。海外生活の話、貴重でした。なにより上智愛が素晴らしい…！今回は、視聴参加者とも、より双方向のコミュニケーションが取れると良いなと思います。

■ ヒットでした。ソフィアンをつなぐ企画面白かったです。世界をつなぐ手法、こんな方法があること、ナイスな思いつきでした。

■ 期待以上に良かったですよ！司会のみなさんNHKのアナウンサーよりも上手でしたね！

■ カリー先生の弾き語り、懐かしかったです。ありがとうございます。

■ 来年はオンとオフ同時開催にするといいね！

■ 「究極のテレワークはお祈り」との言葉に、また「恩寵としてのウィルス」という視点に、勇気づけられました。ありがとうございます。

■ 海外在住の方の話が聴けるのも貴重な経験です。ありがとうございます。

■ 今回の成功は若手ソフィアンの叡智の結集そのものですね。平常時でもASF現地参加の叶わぬ海外在住のソフィアンのため、また「グローバルイズム」を標榜する上智の名に於いても今後毎年のASF Net 配信を実現して頂きたいものです。

■ 世界のソフィアンが同時につながったことは素晴らしいと思いました。特に片柳神父の「コロナも神の御手にある」という言葉にはウーンとうなっていました。今回の企画は、ある意味でインターネット教会であったようにも思います。コロナウィルス禍が、新しい可能性を引き出したといえます。



番組スケジュール 2020年5月31日(日)

時間	タイトル	ゲスト
9:50	お祈り	ヴェリヤト・シリル 名誉教授
10:00	オープニング	
10:05	オープニングトーク 「つなげよう、広げよう、深めよう、ソフィアンの絆」	佐久間勤 理事長 暁道佳明 学長 戸川宏一 ソフィア会会長(63経商)
10:30	ソフィア会連携企画 Sophians Around the World - America	細川多美子(85外葡) ブライス万利子(88外英) 二見文子(89文新) サニースプリング(91外独) 豊田哲也(93外葡)
11:30	金ルビー銀銅祝記念トーク Connecting the dots	【金 祝】 門脇敏巳(70外英) 鈴木孝(70理電) 佐藤洋子(70外英) 【ルビー祝】 久田満(81文心) 岩崎由美(80文国) 【銀 祝】 荒木重則(95理化) 池本洋一(95文新) 【銅 祝】 川島葵(05文新) 今市剛(05文新) 【司 会】 大崎麻子(94比文) 金谷武明(94法法)
13:00	ソフィア会連携企画 Sophians Around the World - Asia Pacific	土田佳毅(94文社福) 榎本豊(81経営) 平野ユキ子(75文英) 辰巳貞一(73法法)
14:00	「これからの時代に求められる人材は？」 社会で活躍するソフィアン パネルディスカッション	株式会社サイバーエージェント 取締役 人事統括 曾山哲人(98文英) アドビシステムズ株式会社 人事部 シニアマネージャー 杉本隆一郎(98経営)
15:00	晴佐久昌英神父・片柳弘史神父対談 「不安な時代をどう生きるか」	晴佐久昌英神父(86神神) 片柳弘史神父(08院前神)
16:00	ソフィア会連携企画 Sophians Around the World - Europe	田中幸子(82外仏) 林菜央(97文史) 高橋真保呂(02院前理電)
17:00	クロージング カリー先生の弾き語り	



<https://sophia-cs.co.jp/>



応援するすべての人たちとともに

未来を担う
みなさんのために



NAVITIME

電車・徒歩・車・バス・飛行機などの様々な交通手段で目的地までの最適ルートをご案内。乗換車両やホーム番号、駅出口などのきめ細かな情報で、移動をサポートします。

— ソフィア会限定 —
「NAVITIME」を3カ月無料でご利用になります。



※「App Store」「Google Play」にて「NAVITIME」アプリをダウンロード後、QRコードを読み取って下さい。
※2021年3月末まで有効



バス会社
対応率
100%

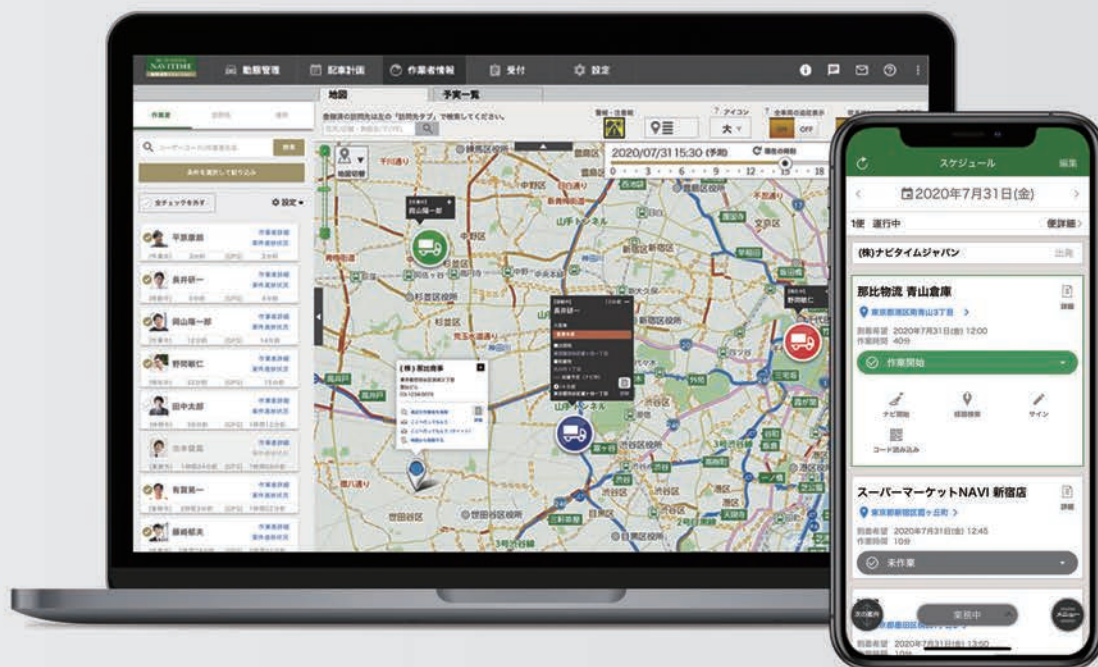


全国バス会社カバー率
100%達成※
※5台以上の路線バスを
保有するバス会社(コミュ
ニティバス等を除く)

一人ひとりの時間を、より豊かなものにするために。

一人ひとりの状況や目的によって、必要としている経路は異なるから、
ただ「最短」距離を求めるナビゲーションではなく「最適」なナビゲーションで、「安心・安全」な移動を提供したい。
人々の移動にかかるストレスを少しでも減らし、移動に費やしていた時間を有意義な時間へと変えたい。
いつか世界中の人々が「NAVITIME」で安心して移動できる日のために。

その時、その場所、その状況に最適なナビゲーションで安心・安全な移動をサポートします。



ビジネスナビタイム 動態管理 ソリューション

法人向けにスマートフォンを活用した動態管理およびナビゲーションサービスを提供するクラウド型ソリューションです。直感的な操作で、作業員の移動や管理者のマネジメント業務の負担を軽減し、「ヒト・モノ・時間」の最適化を図ります。

ナビタイムジャパンについて

様々な移動手段の組み合わせによる経路検索のサービス「NAVITIME」は、上智大学在学中に取り組んでいた、車の経路探索と鉄道の経路探索、それぞれの研究テーマを融合することで生まれました。全世界の人々がご自分の携帯電話やパソコンさえあれば、どこへでも安心して移動できるナビゲーションを目指し、社会に貢献していきたいと願っております。



代表取締役社長
大西 啓介
1988 理電
1990 院前理電
1993 院博理電



取締役副社長
菊池 新
1992 理電
1994 院前理電

ソフィアの 広場

海外ソフィア会 44か国65都市に!

新型コロナウイルス感染拡大の影響で3月以降の投稿はほとんどありませんでしたが、今号では5月末までにホームページに掲載された記事と写真をご紹介します。例によって記事は大胆に短縮させていただいています。皆さまからの写真も楽しみです。ベルギー・ソフィア会さんの写真は雰囲気もよく出ていますが、光と影のコントラストが往時の名画を彷彿させてくれました。

メキシコ・ソフィア会

開催日：2019.09.21

懇親会を開催しました。50年以上の歴史がある当会の世代を越えた交流を今後も続けていきたいと思っています。



ニューヨーク・ソフィア会

開催日：2019.10.06

今回は初めてペンシルバニア州まで足を伸ばして2つのワイナリーを訪問。参加者総勢40名近くの賑やかな集いになりました。



ワシントンDCソフィア会

開催日：2019.10.20

3年ぶりに国際基督教大学との合同懇談会を開催。双方の大学から集まった卒業生の方々と親睦を深める充実した時間となりました。



バルセロナ・ソフィア会

開催日：2019.11.15

市内の日本レストランにて久しぶりに懇親会を開催し、遅くまで盛り上がりしました。



バンコク・ソフィア会

開催日：2019.11.16

英語学科のジョン・ウィリアムズ教授をゲストにお招きして今年下半期の懇親会を市内の老舗海鮮料理店にて開催しました。



マドリード・ソフィア会

開催日：2019.11.28

マドリード自治大学名誉教授の高木香世子先生が令和元年秋の叙勲で瑞宝双光章を受章されたのを祝って集まりました。



アイルランド・ソフィア会

開催日：2019.11.29

クリスマスが近づいて、いつもより華やかな雰囲気のダブルリンで夕食会を開催。9月から当地の大学に留学中の5名の学生さんたちも一緒にしました。



サンパウロ・ソフィア会

開催日：2019.12.08

市内にある会員のマンションのパーティースペースで会員家族をまじえ、恒例のブラジリアンスタイルのバーベキュー、シュラスコを楽しみました。



ミュンヘン・ソフィア会

開催日：2020.01.12

市内の中華レストランにて新年会を開催。今回はお昼に開催した事もあり、遠方にお住いの会員の方々も含めて総勢16名が集まりました。



デュッセルドルフ・ソフィア会

開催日：2020.01.18

市内の老舗和食店に多くの新人、デュッセルドルフ大学に留学中の学生3名、オランダ在住の方など34名のソフィア会が集まり正月料理食べ放題、飲み放題の新年会を楽しみました。



英国ソフィア会

開催日：2020.01.23

ロンドンのソーホー、スペイン料理屋の地下スペースを借り切って新年会を開催。20名のメンバーで、タパスとワインに舌鼓を打ちながら楽しい時間を過ごしました。



LAソフィア会

開催日：2020.02.08

岡田直子さん（84外独）のLAを一望できる素敵なお宅で19名のソフィア会が2020年初のLAソフィア会「よっお久しぶり！」を開催しました。



インド・ソフィア会

開催日：2020.02.28

今年初めての懇親会を開催。1981年卒の大先輩から2017年卒のフレッシュなメンバーまで12名が集まり懇親を深めました。



UAEソフィア会

開催日：2020.03.11

気温25度程度の過ごしやすいUAEですが、春の定例会を開催。3月末に帰国される会員の送別会も兼ねて、ご家族にも参加いただき10名が集まりました。



シドニー・ソフィア会

開催日：2020.03.06

本年の第1回親睦会を開催。参加者12人で、持ち寄ったお酒を酌み交わして親睦を深めました。印象的だったのは親子2代のソフィアンの姿。父上はオーストラリアの駐在員時代を懐かしみ、娘さんも楽しんでおられました。



千曲川ソフィア会

開催日：2019.10.06

佐久間理事長他の来賓をお迎えし、参加者33名にて総会・懇親会を開催。今回は初参加や若い世代の参加者が多く、今後の活動につながる良い総会となりました。



日野ソフィア会

開催日：2019.10.20

第14回目の今回の日野ソフィア会は、会員である片岡光彦氏のバンドの演奏とメンバーの大塚清一郎氏のバグパイプ演奏＆トークショーを行いました。



ベルギー・ソフィア会

開催日：2020.02.02

ブリュッセル郊外の中華料理店にて新年会を開催。小人数でしたが、パートナーの参加も歓迎して、英語、仏語、日本語が飛び交う楽しい会になりました。



アムステルダム・ソフィア会

開催日：2020.02.23

コロナウィルスの脅威が迫りくるなかで遅めの新年会を兼ねたランチパーティーを開催。12名（うち2名はライデン大学への交換留学生）、パートナー2名、子供2名の16名が3時間以上もおしゃべりと情報交換を楽しみました。



マレーシア・ソフィア会

開催日：2020.03.07

クアラルンプールの日本料理店で今年2回目の懇親会を開催。今回は15名が参加されましたが、うち5名はこの3月末に日本に帰国。当会の現会員数は約50名ですが、新規入会のご連絡をお待ちしています。



モスクワ・ソフィア会

開催日：2020.03.23

赤の広場近くのロシア料理レストランで定例会を開催し13名に参加いただきました。3月末に帰国される3名の会員にモスクワ駐在の経験とロシアの奥深さを語っていただき貴重な機会になりました。



よこすかソフィア会

開催日：2019.07.13

第3回ホームコンサートを会長宅で開催。コンサート後の懇親会では奏者のお二人を交えてソフィア会から頂いたワインで乾杯し、楽しいひと時を過ごし懇親を深めました。



秋田ソフィア会

開催日：2019.10.17

京都から当地にお越しのソフィアンの歓迎会を催しました。3名の女性効果もあって幾分平均年齢も下がり、今後が楽しみになってきました。



アルプス・ソフィア会

開催日：2019.10.25

松本市のホテルモンターニュで総会・懇親会を開催。ソフィア会の横原組織委員長、長野市から千曲川ソフィア会の粉内さんにもご出席いただき、新規加入会員4名を含む23名が懇親を深めました。



鹿児島ソフィア会

開催日：2019.10.26

令和元年度の定例会を開催。1957年卒業から先月9月卒業までの鹿児島在住ソフィアンとその家族21名が集いました。



八王子ソフィア会

開催日：2019.11.09

モータウン八王子店にて懇親会を開催。当会のように若い会員が仕切っているソフィア会は全国的に見ても珍しいようですが、嫌な顔もせずそれを見守ってくださる先輩方が本当にありがたく、今後もこの会を盛り上げていけたらと思います。



岡山ソフィア会

開催日：2019.11.10

後楽ホテルにて第6回総会・懇親会を開催。総勢30名強のソフィアンが集まり、大学時代の思い出や近況などを語り合い楽しい時間を過ごしました。



広島東部ソフィア会

開催日：2019.11.16

福山ニューキャッスルホテルで懇親会を開催。今回は初参加5名、21世紀卒業者も4名とフレッシュなメンバーを含め16名のソフィアンが集いました。



小田原ソフィア会

開催日：2019.11.17

小田原お堀端万葉の湯会議場で2019年度総会を開催。懇親会では学生時代の遠距離通学の苦労話など和気あいあいの楽しい時間を過ごしました。



さいたまソフィア会

開催日：2019.11.23

大人の遠足第三弾として『埼玉の銘酒を生み出す酒蔵巡り』をテーマに、埼玉西部、宇都宮、中野、藤沢の各地域ソフィア会や友人らも加わって晩秋の和紙の里小川町を散策しました。



群馬ソフィア会

開催日：2019.11.30

ホテルメトリポリタン高崎にて懇親会を開催。曄道学長、戸川ソフィア会会長、吉澤足利・佐野・栃木ソフィア会会長、杉浦千曲川ソフィア会会長をご来賓にお迎えし、参加者22名で有意義な異業種交流と昔話が花が咲きました。



岩手ソフィア会

開催日：2019.11.04

令和元年度の総会・懇親会を開催。ソフィア会の榎原常任委員、毎年交流を重ねている八戸ソフィア会の澤藤顧問、佐久間副会長、鈴木さん、宮城ソフィア会の松良会長にもご参加いただき、大変賑やかな会になりました。



足利・佐野・栃木ソフィア会

開催日：2019.11.10

戸川ソフィア会会長にもお越しいただき、20名の参加者で総会・懇親会を開催。総会後は会長よりソフィア会の現状と将来構想についてお話を伺いました。



中野ソフィア会

開催日：2019.11.13

中野ソフィア会がソフィア会の登録団体に認定された報告会を開催。16名が会の門出を祝って乾杯し、語り合いました。



宇都宮ソフィア会

開催日：2019.11.16

市内のレストランにて懇親会を開催。初参加の8名に自己紹介をお願いし、大島さいたまソフィア会会長（兼当会顧問）には、地域ソフィア会の相互交流のお話を伺いました。



埼玉西部ソフィア会

開催日：2019.11.17

パークホテルにて総会・懇親会を開催しました。ご来賓の佐久間理事長他32名の会員が出席。理事長からは上智大学の過去・現在・未来についてご講演をいただきました。



山梨県ソフィア会

開催日：2019.11.23

山口市で懇親会を開催しました。ローマ教皇訪日の話して大変盛り上がりしました。今後も同窓生の絆を深めていきます。



山梨ソフィア会

開催日：2019.12.06

甲府駅北口の「レストランテバローロ」で忘年懇親会・幹事会を開催。会員の長倉富貴さん(93文英、山梨学院大教授)に昨今のスポーツ事情を講演いただいた後、参加者19名が懇親を深めました。



文京ソフィア会

開催日：2019.12.07

駒込のイタリアン・レストランにて懇親夕食会を開催。初参加者から常連まで総勢 37 名の参加を得て、冬の寒さを吹き飛ばすような熱気に満ちたひと時を過ごしました。



福岡ソフィア会

開催日：2020.01.18

久しぶりに天候トラブルもなく無事に嵐を呼ぶ福岡ソフィア会を開催。当会は老若男女の縦に長い組織となりました。お蔭さまで東京支部、末はグローバル開催も夢ではない？



ワンダーフォーゲル部 OB 会

開催日：2019.10.5-6

瑞牆（みずがき）山麓のみずがきリーゼンヒュッテに OB・OG や現役部員 50 名が集合。当日は夜更けまで盛り上がり、翌朝は複数のコースに分かれて爽やかな初秋を楽しみました。



観光研究会同期会

開催日：2019.10.18

我々が観光研究会メンバーの 1964 年のオリンピック選手村校食堂でのボーイ姿、豪華食事のスナップ写真を懐かしみ、2 度目の東京五輪を愉しみに散会しました。



ソフィアギターアンサンブル OB 会

開催日：2019.10.27

戸川ソフィア会会長ご夫妻のご出席を賜わり、弘済会館にて「PARTY2019」を盛大に開催しました。PARTY は隔年で OB 諸氏と現役部員が 100 名規模で集い、旧交を温める場。今年は我が国のトッププロ 3 名に感動的な生演奏をご披露いただきました。



アピオンソフィア会

開催日：2019.11.27

第 30 回総会・懇親会をソフィアズクラブで開催。佐久間理事長、畔道学長、戸川ソフィア会会長を来賓にお迎えし、約 30 名の参加を得て楽しく賑やかなひと時を過ごしました。



碁鷺会

開催日：2019.12.07

恒例の年末囲碁大会を麹町・ダイヤモンド囲碁サロンにて開催。今回はスタートして 20 周年の記念大会で、遠く八戸からも会員が参加。現役学生（囲碁研）3 名も加わり、総勢 20 名で一日熱戦を繰り広げました。



熊本ソフィア会

開催日：2020.01.18

昨年ソフィア会から顕彰された米村顧問の受賞のお祝いも兼ねて、恒例の新年会を会員が経営する紅蘭亭上通りパビリオン館で開催。18 名が参加くださいました。



石川ソフィア会

開催日：2020.01.18

20 名にて新年会を開催。今回は参加者それぞれに「今年の一文字」を漢字で書いて発表していただきました。20 人いても漢字が重なる方がいないなど、群れないソフィアンらしさが現われていました。



外英71年入学同期会

開催日：2019.10.11

ソフィアズクラブにて恒例の同期会を開催。巨大な台風到来の前日にも拘らず 14 名が参加くださり、和気藹藹のアツという間の 2 時間でした。



体育会 OB 会

開催日：2019.10.25

恒例の秋のレクリエーションを高尾山で実施しました。小川 OB 会々長を始め、南山大学応援団 OB も参加され総勢 21 名が朝の高尾山口駅に集合。ケーブルカーで登る人、登山道を登る人、それぞれ元気に山頂に向けて散策を楽しみました。



ポルトガル語学科同窓会

開催日：2019.11.24

ソフィアズクラブにて恒例の「卒業生によるカジュアル講演&忘年会」を開催。冷たい雨にもかかわらず 50 人近くが参加してくださいました。



東京シンガポールソフィア会

開催日：2019.12.05

青山にて忘年会を開催し、宮内会長他 18 名が集まりました。シンガポールや地方からの参加者や初参加の方もいて話は尽きず、の会でした。登録会員も 40 名になりました。



酒議会

開催日：2019.12.17

例年通り雑司ヶ谷の「鳥常」にて 15 名（うち女性 4 名）で鴨鍋を囲み、ボケ防止の俳句大会で盛り上がり、来年の春の総会を迎賓館散策に決定。和気藹々の会でした。



獨協ソフィア会

開催日：2019.12.18

四ツ谷しんみち通りで忘年会を開催。12名が出席されました。



SNSソフィア会

開催日：2019.12.20

10年以上続いてきソフィア会のSNSが年内で終了となるため、一区切りの会合をソフィアズクラブで開催。28名が参加されました。



ニューヨーク東京会

開催日：2019.12.21

新しくできて人気の高い日比谷ミッドタウンにてクリスマス・忘年会を開催。時節柄欠席者が多くなりましたが、逆にそれが幸いして予定時間を大幅に超過して終わりました。



体育会OB会

開催日：2019.12.22

第26回オールソフィアズ健康マラソン大会を皇居にて開催。ラン部門42名、ウォーキング部門17名計59名に参加いただきました。終了後はソフィアズクラブで恒例の懇親会を行いました。



デュッセルドルフ東京会

開催日：2019.12.29

デュッセルドルフ・ソフィア会の幹事代表、新井一郎（81外独）氏の一時帰国に合わせて歓迎会兼忘年会を開催しました。



体育会サッカー部OB会

開催日：2020.01.12

体育会サッカー部OB会と現役サッカー部共催の初蹴りを私学事業団総合運動場で開催。壮年OBは東京都女子リーグ1部SOCIOS FCと親善試合を行い、3-1で勝利しました。参加者はOB17名他総勢73名でした。



ボウリング愛好会 OB会

開催日：2020.01.13

品川ボウリングセンターでボウリング愛好会OB会を開催。学連トップクラスで活躍する現役選手男女2名の参加により、ハイレベルな試合となりました。懇親会には篠田前新潟市長や地方からOBが参加くださり、総勢17名で賑やかな会になりました。



金祝燦燦会

開催日：2020.01.14

今回の俳句コンテストは応募期間を11月初めから12月半ばとし、9か国から27名80句（日本語17句、英語63句）の応募がありました。1月14日に受賞者発表と表彰式を行いました。



体育会応援団OG会

開催日：2020.02.22

ソフィアズクラブにて2回目の体育会応援団OB会女性会員の懇親会を開催。華やかな会に黒川OB会会長以下17名が参加し、現役団員を交え顧問の川中先生とともに和やかに親睦を深めました。



史学科同窓会

開催日：2019.11.16

14回目の秋の見学会は、昔ながらの下町の風情の残る街並みと超高層マンション群の新旧の対比を楽しみながら、佃島、石川島燈台跡、隅田川テラス、石川島資料館を巡り、越中島の東京海洋大学に保存されている明治丸を見学しました。



なお、上記の他に右の諸団体から投稿をいただきました。

ソフィア会HP掲載月日も記しましたので、HPで記事・写真を閲覧ください。

団体名	開催日	HP掲載月日
外仏 1964 年卒 D34 クラス会	2019.10.30	2019.11.06
師走会 (71-35<1975 法法> クラス会)	2019.12.07	2019.12.12
香港ソフィア会東京支部	2019.12.23	2020.01.08
文社 69 年入学クラス会	2020.01.18	2020.02.06

今年初めから、突然世界中を騒がせ始めた新型コロナウイルス。
そんな中で迎えた3月24日の学位授与式の日。
感染拡大防止のため、東京国際フォーラムの式典は中止。教室での学科別集会も中止。
しかし、四谷キャンパスには多くの卒業生が訪れ、学位記を受け取っていました。
父母も在校生もいない、教室での集会もない、恩師との別れの機会もない、
自分たちだけの卒業の日。
でもそこには、こんなものには決して負けないとい力強さがありました。
ご卒業おめでとう。そして、ようこそ上智大学ソフィア会へ。



コロナに負けず、ソフィア会に若い力 式典はなくても四谷に集まった卒業生

いつも、ソフィアンのつながりを

ご卒業を心よりお祝い申し上げます。今年ご卒業になったみなさまは、すでにソフィア会のメンバーになっておられます。ソフィア会を代表して心から歓迎致します。

機会がある時には、四谷キャンパスで行われ

るソフィア会の行事にぜひご参加ください。6号館6階にあるソフィアンズクラブは卒業生のみなさまはいつでもご利用いただけます。また海外におられる時、国内の各地におられる時には、ぜひそれぞれの場所にあるソフィア会に参加していただきたいと思います。

上智大学の教育精神である「他者のために他者と共に生きる」を旗印に、これから強い絆で全世界とつながり、ますます大きな強い輪となっていくことを願っています。

ソフィア会会長 戸川宏一

ソフィア会のスローガンを制定

「つなげよう、広げよう、深めよう、ソフィアンの絆」

「将来ビジョン」の施策を実行するためのスローガン「つなげよう、広げよう、深めよう、ソフィアンの絆」を制定。このほどそのロゴマークを発表しました。英文も含め4つの輪でその狙いを表現しています。

スローガン・ロゴは「つなげよう、広げよう、深めよう、ソフィアンの絆」とともに、その英語版である「Join, Widen, Deepen, Sophia Family」も用意。今後、このロゴをWebサイトや会報「ソフィアンズナウ」をはじめ、あらゆる場面でアピールしていく予定です。



将来ビジョン検討委員会は、今後目指すべき将来像を12の施策としてまとめています。各委員会がこの施策に基づき具体的な実行計画に落とし込み実行段階へと移していくことになります。



事務局だより

緊急事態宣言の解除から約1か月が経ちました。社会はソーシャル・ディスタンスを保ちながら、以前の活気を取り戻しつつあります。卒業生におかれましては、今回深刻な経済的痛手を受け、展望が見通せない



状況にある方も多くいらっしゃるかと思います。同窓会組織として、それらの会員に対して何もできないこと、そういう議論を支援できなかったことに、じくじたる思いを抱きます。

上智大学のキャンパスは学生の賑わう姿もなく、今もひっそりと静まりかえっています。春期授業はすべてオンラインとなり、平日の課外活動もなく、学内イベントも開催できず、入構制限が継続されています。これは構内では集団感染が起きないように学生をコントロールすることが難しいからであり、この静まりは対面授業が再開される秋期授業開始（9月下旬）まで続くと思われます。

ソフィアンズクラブも構内にある以上、すぐに全日再開できる見通しが立っておりません。母校に入構できず、クラブの利用もできず、もどかしき思いの方も多くいらっしゃると思いますが、もうしばらくお待ちいただければと思います。ソフィア会事務局もテレワークになってはありますが、みなさまからの問い合わせに関しては、電話・対面以上に迅速に執り行っていく所存です。

お詫びと訂正

2019年12月発行の「ソフィアンズナウ」No.186の15ページ「ソフィア会奨学金を創設しました」の記事中、奨学生の氏名が間違っていました。

名和梨沙アンバーさんを名和利紗アンバーさんに、お詫びして訂正します。

訃報 (2019年秋～2020年春)

※敬称略

11月25日逝去	金行 壯二	上智大学名誉教授(元理工学部数学科)
12月 6日逝去	渡邊 實	上智大学元教授(元文学部国文学科)
3月10日逝去	江沢 国康	上智大学元専任教員(元外国語学部ロシア語学科)
3月11日逝去	田村 捷利	上智大学名誉教授(元理工学部機械工学科)
5月11日逝去	日下 幸雄	史学科同窓会初代会長
5月23日逝去	アドルフ・ニコラス	上智大学元教授(元神学部神学科)

ソフィア会広報委員会

穴戸周夫(1971法法)、鈴木真理子(1982文仏)、風間烈(1965外仏)、宮崎輝雄(1972法法)、山田洋子(1977外独)、池田晶子(1980文哲)、松本明子(1983文史)、住谷史雄(1985法法)、金谷春美(2003外葡)、船津桂(2006法国)、垣本絵美子(2017院前総心)